

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 04 16	中期総合計画主要施策番号	1-08	担当課	部・課	農政部園芸畜産課	
事業名	外来魚等食害防止対策事業			内線	3085		
				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H15 ~	根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、外来魚等食害防止対策事業実施要領				
実施方法	県が外来魚、カワウ等及びミンクに対する防除を実施する漁業協同組合等へ補助金を交付し実施					国庫・県単	県単独事業

  

事業の概要等	目的 (必要性)	ブラックバス、ブルーギル等の外来魚、カワウ等及びミンクによる漁業被害を軽減し、豊かな水産資源を維持する。				
	対象	漁業協同組合及び自治体等知事が認める団体				
	目指すべき姿	外来魚、カワウ等及びミンクによる漁業被害を低減する。				
	事業内容	外来魚、カワウ等及びミンクの駆除及び食害防止の経費に対する補助(補助率1/2以内) ・外来魚やミンクの駆除及びカワウ駆除の委託や追い払いの実施 ・捕獲物の処理や違法放流啓発看板の設置				

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 旅費1千円、消耗品242千円、補助金(駆除等に要する経費):2,074千円
	最終予算額 (A)		千円	3,081	2,332	2,099	
	決 算 額 (B)		千円	2,993	2,317		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	2,993	2,317	2,099	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.44	1.44	1.44	
	概算人件費 (C)		千円	11,976	11,892	11,892	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	14,969	14,209	13,991		

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・外来魚の産卵場を265カ所崩壊し、繁殖の抑制を行った。 ・カワウの追い払いを行い、魚類の捕食を防いだ。  (効率指標 算出式) 概算事業費 / 事業主体延べ数
	事業主体(活)	団体	19	16	17	
	駆除数(成)	尾	外来魚81,964尾 カワウ241羽	外来魚171,873尾 カワウ209羽	-	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 事業実施主体延べ数	千円/ 団体	788	888	823	

  

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	漁業被害を低減するため、漁業者等16団体が行う外来魚等の駆除及び被害防除に要する経費を補助し、外来魚、カワウ、ミンクの駆除により漁業被害の低減に努める。			・漁協等への補助を16件(団体)行った結果、外来魚171,873尾、カワウ209羽、ミンク11頭の駆除を行った。 ・外来魚駆除は産卵期において集中的に行ったほか、ため池の水抜きによる完全駆除により、生息水域を減らすことが出来た。カワウでは追い払いは漁協組合員、駆除は猟友会への委託など分担して被害防止に努めた。			b 期待どおり

  

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・駆除を実施しなければ水産被害の増加だけでなく遊漁者減少に伴う観光業への影響及び生物多様性への影響があるため引き続き県が関与し事業を実施する必要がある。 ・事業実施の際は、本事業による補助だけでなく、水産試験場による技術指導を受け効率的な駆除等を行っている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	今後も着実に外来魚完全駆除水域を増やし、ため池から河川への外来魚の流出を抑えるとともに、水産試験場で開発した技術(小型三枚網など)を取り入れ、天然水域での駆除を進める。また、カワウについては中部近畿広域協議会への参画や、冬期釣場を推進して釣り人による防除を進めるなど他の施策と合わせて本事業を継続していく必要がある。				
	特記事項					